

# 職員交流派遣レポート 私たちの半年

長野県木曾町教育委員会 生涯学習課 白川 人とわ

本年4月より1年間長野県木曾町に職員交流派遣として赴任しております白川人と（しらかわとわ）と申します。木曾町へ来て、早半年が経ちましたので、派遣の中間報告をさせていただきます。



「日本で最も美しい村」連合にも加盟している木曾町の風景。

## ◆木曾町について

長野県の南西部に位置する木曾町は、人口約1万人。

総面積476.03平方kmの約90%が山林を占め、西に御岳山、東に中央アルプス木曾駒ヶ岳がそびえる緑豊かな山間の町です。

町の中央には木曾川が流れ、流域に沿って国道19号とJR中央本線が走っています。

町全体としては、内陸性気候のため、夏と冬、昼と夜の寒暖差が大きいです。

産業としては、林業・観光業が盛んで、木曾ヒノキや中山道の宿場の街並みが有名です。

名物は、朴葉巻きやすんき、蕎麦、地酒など、どれも一度は味わいたいものばかりです。

そのほか、百草丸という漢方薬や木曾ヒノキを用いた木工芸品・漆器などがあります。



朴の葉で包まれた木曾のお菓子

## ◆木曾町での業務

教育委員会生涯学習課（社会体育）に所属しています。

主に、町内体育施設の維持管理やスポーツイベントの運営事務など、生涯スポーツの普及振興に携わっています。

木曾町では、2028国民スポーツ大会長野大会において相撲競技の開催地内定を受けたこともあり、既存施設の機能を集約したスポーツ拠点施設の基本設計を進めています。

多様な年代の町民の皆様から意見を集約する取り組みの1つとして、ワークショップを行うことで、参加者同士の意見を聞き、幅広い層の考えに触れることができました。



実際のワークショップの様子

その他には、3年ぶりとなる町のイベントにも参加できました。「みこしまくり」、「木曾音楽祭」はどちらも木曾の夏を盛り上げるお祭りです。「みこしまくり」は、約400kgもある御神輿を担いで町内を練り歩き、最後には転がして（まくつて）壊すという「天下の奇祭」ともいわれるくらい荒々しいお祭りです。町全体が大いに盛り上がりを見せるこの祭り。御神輿がアスファルトにぶつかり響く音は、中々頭から離れません。一方、「木曾音楽祭」は、自然と音楽の調和をテーマにかかげるクラシックの祭典です。一流の音楽家たちが奏でる音色は、夏の終わりを告げる風物詩として、今年も木曾谷に響き渡りました。私自身、業務の経験が未熟であり、覚えること



「みこしまくり」

最後に 福島町へ戻ってからエネルギー切れにならない程度に頑張ります。拙い文章ですみませんが、ご覧頂き、ありがとうございました。



「木曾音楽祭」記念ポロシャツの作成を手掛けました。（左図：実際にプリントされたデザイン）